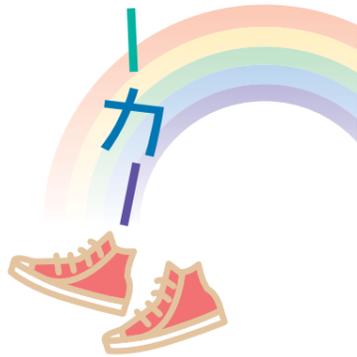




雄大な利根川の西側に広がる東地区。今回は、利根川サイクリングロードを中心に、車を気にすることなくゆったりと散策できる片道約4キロのコースです。スタートは、広々とした広場が印象的な大利根緑地。本市と高崎市が共同で整備し、平成15年に完成したこの緑地は、地域住民の憩いの場です。利根川のせせらぎを聞きながら、サイクリングロードを北に進みます。道沿いには季節の花々が咲き、途中にはいくつ

前橋 ウォーカー 東地区



かの休憩所が設置されています。道なりに進んでいくと、前方に見えるのが雷電神社。この神楽殿で毎年4月に行われる太々神楽は、本市の伝統芸能の一つです。南部大橋の手前には、利根川を往來した渡し舟の舟着場（真政の渡し）がありました。明治17年に利根橋が完成するまでは、この渡し舟がこの辺りでは唯一の交通手段でした。前橋・長瀬線沿いには、その歴史を物語るように、船着場跡地の方向を示す石碑が立っています。サイクリングロードから住宅地に入ると、大徳寺が見えてきます。大徳寺は、四脚門という珍しい構造の総門と、精巧に作られた金銅製の多宝塔があり、いずれも市の重要文化財に登録されています。初冬の澄み切った空気を吸いながら、爽やかなウォーキングを楽しんでみませんか。



重要文化財の大徳寺

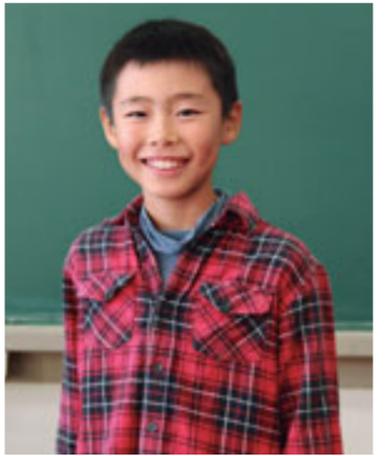
全国児童画コンクールで、ふんわりした白い猫と自分自身を描いた「うちのミーちゃん」が最優秀賞に輝いた。「受賞の知らせは手紙で届いたんです。本当にうれしくて、すぐに通っている絵画教室に持って行きました。先生も友達も一緒に喜んでくれて、さらにうれしくなりました」

て、それを描いています。旅行の時は、スケッチブックと鉛筆を必ず持っていきます。ことしの夏に家族で沖縄に行ったときに描いたジンベエザメの絵は、お気に入りです。見るたびに旅行のことを思い出します」

現在、桃瀬小の4年生。学校では、水泳陸上クラブに所属し、地域の少年野球チームでも活躍している。

「お母さんや先生が、発想力があるねと言ってくれます。将来は、それを生かして服のデザイナーになりたい。絵を描いていることも、夢の実現につながるいいな」

家でも学校でも、明るくはつらつとしている橋立さん。これからも得意の絵でみんなを楽しませてほしい。



全国児童画コンクール
で最優秀賞

橋立 真さん 10歳
天川大島町一丁目



クローズアップ



健康を見つめ直すフェスタ

11月19日、前橋保健センターで健康フェスタを開催しました。妊婦疑似体験コーナーや食品安全講演会、子宮頸がん・乳がん予防講演、歯と口の健康チェックなどを実施。同時開催されたいわき市物産展や写真展なども大盛況でした。



楽しみながら消防士体験

11月13日、消防局で消防ふれあい広場を開催しました。消防服の試着や消火器による初期消火、ミニ消防車の乗車など、さまざまな体験ができるこの催しに、多くの親子連れが集合。救命講習ではAEDの使い方などを真剣に学びました。



大規模災害への備え

11月9日、本市と県石油協同組合は、災害時におけるガソリン等燃料の供給に関する協定を締結。大規模災害が発生し市内のガソリンが不足した場合にも、災害応急対応やライフラインの維持などに必要なガソリンが優先的に供給されるようになりました。



大きな旗に風を感じて

11月17日、前橋プラザ元気21でフラッグアート事前発表会を開催。市内の中学校などの生徒たちが、大きな旗に描いた作品を発表しました。「風」をテーマに描かれた力作が勢ぞろい。作品は1月31日(火)まで中央通りアーケードで展示されています。